

(29) 魚病監視調査

調査方法

1. 調査期間

2007年4月～2008年3月

2. 調査項目

1) 魚病診断

育成魚等の異常が報告された場合、すみやかに魚病診断を行った。

2) ヒラメ貧血症監視調査

漁獲されたヒラメにおけるネオヘテロボツリウム *Neoheterobothrium hirame* の寄生率を調査した。

調査結果

表1・2のとおり。

担当者

辻村浩隆

表1 魚病監視調査、魚病診断件数

魚種	病名	2007年						2008年						合計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
サワラ	栄養疾患			1											1
オニオコゼ	繊毛虫症				1										1
マダイ	エドワジェラ症								1						1
ブリ	レンサ球菌症								1						1
スズキ	ヒダビル	1													1

表2 魚病監視調査、漁獲されたヒラメにおけるネオヘテロボツリウムの寄生率(%)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	9-12月合計
2003年度													※28.3
2004年度	-	(0)	-	0	0	(20)	28	20	(0)	-	-	-	23.4
2005年度	-	-	-	-	(0)	(25)	6	-	18	-	-	-	12.5
2006年度	-	-	-	-	-	2	18	(0)	(11)	(67)	-	(0)	14.3
2007年度	(0)	-	-	-	5	(0)	(0)	(0)	(0)	-	-	-	0.0

※年間の合計値
() は調査個体が10個体未満